

はじまりは大阪 にあり！ 井上 理津子

第三回 公設市場

場所は、東区谷町、南区天王寺、西区境川、北区福島。当時の東西南北の区に一つずつ。それぞれが、青果、乾物、漬物、昆布、こんにゃく、

大正後期から昭和初期にかけ、大阪市は「大大阪」と呼ばれた。好景気に沸き、人口が200万人を突破、東京市を抜いたからだ。そうした時代に向かっていた1918（大正7）年4月、大阪市

に日本初の公設市場が誕生した。役所も「人のやらんことをやれ」精神を発揮し、大大阪の人たちの暮らしを支えたのだ。

大阪市に都市改良計画調査会が設置され、社会事業の一環として検討されたのがきっかけである。第一次大戦後の活況で物価が急騰していたため、物価上昇を抑制することを目的に、計画決定から2ヶ月でスピード開設された。

庶民の暮らし支えた 流通販売革命の場



民営化され残った18店舗のうちのひとつ、食料品スーパー「食品館アプロ」（浪速区桜川）。旧公団住宅である「桜川UR」の1階部分に立地する。
※公設市場：生活必需品を公正な価格で提供するため公共団体の所有する土地や建物に設けられた市場。

油揚げ類、味噌、かまぼこ、鶏卵、甘藷の11店舗で構成された。市民は首を長くして開設を待っていた。開設初日、「午前8時に市場が開くと、女性たちが金切り声を上げて押し寄せ、我先にと凄まじい」と、大阪毎日新聞が伝える。公明正大が売らだ。生産者の直接販売などの工夫で、軒並み「3割安

での現金提供となった。従前の小売店は大福帳を用いた掛け売りが普通。販売価格は決まっていないうに等しかったため、公設市場は「流通・販売革命」の場となったのだ。さらに「代金を受け取る時は一礼する」「客の前で、頭髪をかく等の行為を慎む」等のルールも制定されたから「サービス革命」の場でもあった。

大阪市は、掛け売り禁止、毎日の売上金額の報告を義務付けるなど、厳しく監督指導をした。そんな有り様が、瞬く間に街場の数多の小売店に影響を与えた。公設市場開設のわずか2週間後に「日用食料品の価格が低落に向かっている」と報告されている。

この公設市場に、他府県から視察が相次ぎ、同年のうちに京都市、神戸市、名古屋市、横浜市、翌年に東京市と全国各地に公設市場が広まっていく。本家本元の大阪では、昭和初期に54店舗を数え、発展の一途をたどる。戦後の復興も早かった。

大阪府は、掛け売り禁止、毎日の売上金額の報告を義務付けるなど、厳しく監督指導をした。そんな有り様が、瞬く間に街場の数多の小売店に影響を与えた。公設市場開設のわずか2週間後に「日用食料品の価格が低落に向かっている」と報告されている。

井上理津子（いのうえりつこ）ノンフィクションライター。著書に、この連載の元である『新版はじまりは大阪にある町酒場列伝』『さいごの色街 飛田』『葬送の仕事師たち』『いまどきの納骨堂』などがある。故・大内弘（淀川区開業）の長女。

20人以下が4割弱 50歳から患者数減少

⑤ 分析!! 2018年度 会員意見調査

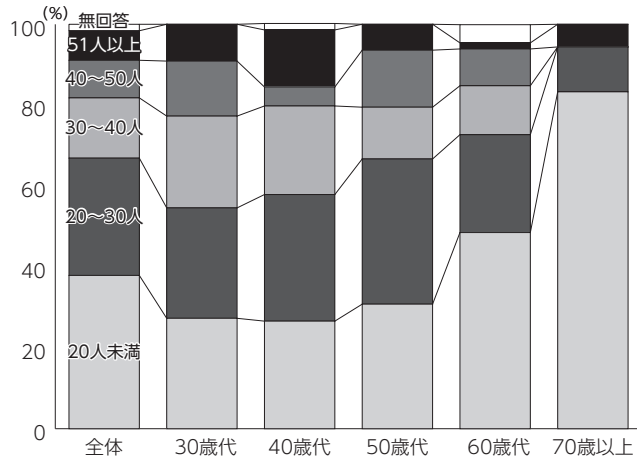
一日当たりの
平均患者数

「一日当たりの平均患者数」を聞くと、全体では20人未満が37・9%を占めている。回答者の年代別では30代から50代では顕著な差はみられないが、60歳、70歳代では20人未満の割合は高い。

20人未満と回答したなかで、「経営状態」についての回答との相関を見ると、「悪い」が33%、「やや悪い」が37%を占めており、合合わせると7割に達する。一日の患者数が20人未満では、安定した経営が難しくなることがうかがえる。

患者数の内訳では「20人〜30人」が30代から50代ではボリュームゾーン

院長の年齢階層別一日当たりの平均患者数



となっている。30歳、40歳代では「30人〜40人」が20%を超えているが、50歳代以降と差が大きいが、50歳を前後して患者数は減少する傾向と言える。なお、「40人〜50人」「51人以上」を合わせると30代から50代とも20%前後で患者数が40人以上となると年代別の特徴は見られないといえる。



訪問診療の不正請求
西日本新聞WEB記事

西日本新聞は5月14日配信のWEB記事で訪問歯科の診療報酬不正請求について報じている。

行っていない検査費用の架空請求や数分の診療を20分以上の診療報酬で請求していた福岡市内の歯科医院を取材。

医療費の通知を見た家族が気付きやすいよう、治療内容を分かりやすく記載する必要があるとする識者コメントも紹介している。

大阪府歯科保険医協会が運営する

求人情報サイト

- ▶ 協会ホームページから簡単申し込み
掲載料は3カ月で1万円！
- ▶ 費用は掲載料のみ
スマホからの申し込みも可！
- ▶ 更新は毎月15日

掲載は会員限定

詳細は [大阪府歯科保険医協会](http://osk-net.org/job/) 検索



<http://osk-net.org/job/>

※協会は情報提供のみで条件の交渉等は当事者間をお願い致します。

協会行事案内

お申し込みは HP osk-net.org 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0564

6月度生涯研修
歯髄炎および根尖性歯周炎の病態と臨床

日時 6月9日（日）午前10時〜午後1時
会場 M&Dホール（保険医会館東隣り）
講師 中西正氏（徳島大学 大学院歯学薬学研究所 歯科保存学分野准教授）
定員 100人
会費 3000円、未入会者1万円

働き方改革関連法対応セミナー
― 年次有給休暇の付与など罰則付きの改正事項を中心 ―

日時 7月6日（土）午後4時〜6時
会場 保険医会館5階会議室 定員 50人
講師 桂好志郎氏（協会顧問 社労士）
会費 家族無料、未入会者1万円

7月度生涯研修
歯科接着を活用した支台築造のトラブル回避
― 支台築造の基本からファイバーポストレジソニアまで ―

日時 7月7日（日）午前10時〜午後1時
会場 M&Dホール（保険医会館東隣り）
講師 坪田有史氏（東京都文京区開業）
会費 3000円、未入会者1万円
定員 100人

北河内地区
サントリー京都ブルワリー見学

日時 7月21日（日）午前10時〜午後1時
会場 サントリー京都ブルワリー（京都府長岡京市調子3-1-1）
会費 会員・スタッフ無料 定員 15人

社保講習会

第1回 7月27日（土）午後6時〜8時
内容 【初・再診料、医学管理、訪問診療】
第2回 8月24日（土）午後6時〜8時
内容 【検査・画像診断・投薬・麻酔、処置、歯周疾患】
第3回 9月21日（土）午後6時〜8時
内容 【手術、歯冠修復フリッジ、有床義歯】
会場 M&Dホール（保険医会館東隣り）
定員 100人
講師 社保研究部講師団
持参物 「歯科保険診療の研究」（2018年4月版）
会費 会員無料

無料相談

法律 6月3日（月）午後2時〜4時
税務 6月19日（水）午後2時〜5時
雇用 6月20日（木）午後2時〜4時
※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です

※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。